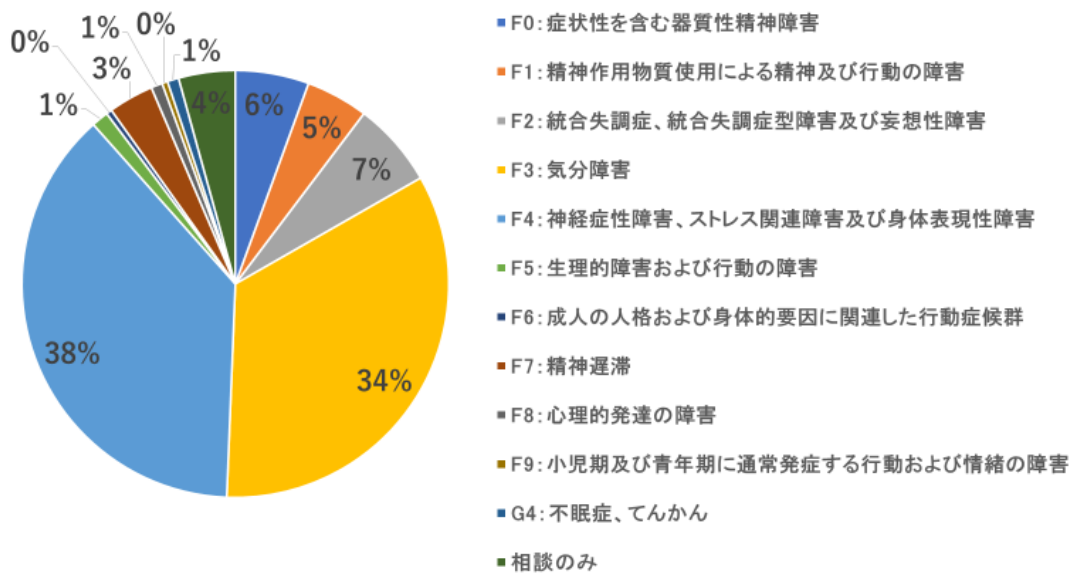


2017 年度新規患者統計



● 新規患者の特徴

- 2017 年度、1 年間の患者総数は、234 名(男性:109 名、女性 125 名)でした。
- F4(不安障害、強迫性障害、適応障害、神経症など)が 88 名(38%)と最多でした。次に F3(うつ病や双極性障害など)が 79 名(34%)と多く、F4 と F3 を合わせて、全体の約 7 割を占めていました。
- その他、F2(主に統合失調症)は、15 名(7%)、F0(主に認知症)は、13 名(6%)、F1(主にアルコール依存症)は、11 名(5%)でした。
- 発達障害(F8,F9)は、3 名と少数でした。この結果は、発達障害の診断には成育歴の聴取や心理検査が必要であり、初診時に確定診断をつけるのが困難なためと考えられました。実際には、初診以後、うつ病や不安障害の背景に発達障害が併存していることが判明するケースが一定数存在します。発達障害の診断につきましては、肥前精神医療センターなどにご紹介して、精査して頂いております。